

# 道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校  
校長室だより

## 「自分ひとりぐらい…」

2 学期が始まりましたが、まだまだ厳しい暑さが続いています。自分の体調管理をしっかり行い、早く生活リズムを元に戻してください。まずは、授業中にしっかり集中すること。「**継続は力なり**」という言葉がありますが、毎時間毎時間の授業の積み重ねを大切にしてください。特に、6 年生は自分の進路に向け正念場を迎えます。最後まで努力を続けて欲しいと思います。

学期始めに、集団の中の自分ということについて考えてみてください。私たちは、大阪学芸中等教育学校という集団の他、学年、何年何組というクラス、部活動など色々な集団があります。これらの集団の中で、自分はどのよう関わっていくか、自分はどのような行動が求められているのかを学んでいる事と思います。

このことに関係する話を紹介します。

フランスの田舎の村で、何十年も学校の教師をしていた先生が、学校をやめて自分の故郷に帰ることになりました。それで、村人たちは、子ども達がお世話になったので何かプレゼントをしようと話し合いました。そして、どこの家にもある、村の名産のワインを持ち寄って贈ろうということになりました。村の広場の真ん中に大きな樽を置き、それぞれがコップ一杯のワインを入れることにしたのです。先生は村を離れる日に樽をもらい、村を出ていきました。村人たちの思いがけない贈り物に大変喜び、別れるのはつらいけど大好きなワインをもらったので、故郷に帰っても楽しみでした。

先生は村のことを思い出しながら、ワインの樽をあけて飲んでみました。ところが、ワインを口に含んでびっくり。なんとワインだと思っていたのに水に替わっていたのです。先生は、まるで狐につままれたようで訳がわかりませんでした。あんなに正直な村人たちが、なぜこんなことをしてからかうのだろうか、裏切られた気持ちになりました。

なぜ、ワインが水になってしまったのでしょうか。

実は、村人全員が約束を守らず、「自分ひとりぐらい水を入れても分からないだろう」と考えたからです。村人のうちひとりだったら分からないかも知れませんが、全員がそんなふうを考えて水を入れたので、樽の中は水になってしまったということです。

普段の学校生活の中で、このような気持ちになることはありませんか。

自分ひとりぐらい遅刻したって、自分ひとりぐらい服装違反したって、自分ひとりぐらい授業中に寝ていたって……。

**「自分ひとりぐらい」という気持ちが広がれば、学校の雰囲気はダメにしてしまう**という意識と自覚をもって行動して欲しいと思います。集団で生活することは少し窮屈かもしれませんが、我慢することも大切ではないでしょうか。

2 学期のスタートにあたり、皆さんに守って欲しいことをもう一つ。「**自分がされて嫌なことを人にしない、自分が言われて嫌なことを人に言わない。**」このことを心に刻んでおいてください。

皆さんが 2 学期も明るく楽しく前向きに（ATM）学校生活を送ってくれることを願っています。